



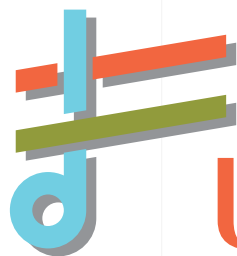
ホームページ



Instagram



Googleマップ



秋も要注意

花粉症



①花粉症の人の約15%は秋に症状を発症する!

「花粉症」というと春のスギ花粉のイメージが強いですが、実は日本だけでも現在60種類以上の花粉症が報告されており、一年を通して花粉症になる可能性があります。秋の花粉症は夏の終わりごろから10月にかけて、目や鼻の症状が出ます。原因となる植物はキク科のブタクサやヨモギ、アサ科のカナムグラなどが挙げられ、この時期に鼻水が出る、目や耳がかゆいという人は秋の花粉症かもしれません。

秋の花粉の飛散時期

花粉	7月	8月	9月	10月	11月
ブタクサ属					
ヨモギ属					
カナムグラ					

● 少ない ● 多い ● 非常に多い

②ポイントはかゆみ!「秋の花粉症」の見分け方

花粉自体に毒性はありません。しかし体内に入った花粉が異物(抗原)と認識されると、それに対抗する抗体(IgE)が作られ、再び花粉が体内に入るとアレルギー反応を引き起こし、くしゃみや鼻水などが表われます。

花粉症の症状は風邪と似ている

水のような透明な鼻水や目のかゆみなどの症状が続くようなら、秋の花粉症かもしれません。また、子どもの花粉症にも注意が必要です。

主な花粉症の症状

- ・ 目や鼻をこするしぐさ
- ・ まばたきが増える
- ・ 鼻をすする
- ・ 鼻血
- ・ くしゃみ
- ・ 水性の鼻水
- ・ いびき
- ・ 口呼吸

花粉症から始まる食物アレルギーにもご注意を!

果物や野菜を食べた後に口・唇・のどなどにイガイガ感やかゆみ、腫れがみられます。ブタクサ花粉ではメロンやスイカ、ヨモギ花粉ではセロリやニンジンなどで症状が出る場合があります。血液検査でアレルギーとなる食物を判定しましょう。

秋に花粉を飛ばす雑草

-ブタクサ-

- 黄色い穂状の花を咲かせる
- 花粉症の原因としてはスギ、ヒノキに次いで3番目に多い



-ヨモギ-

- 3ミリほどの薄茶色の花を穂状に咲かせる
- 葉は草餅などの食材として利用されるほか漢方薬としても用いられる



-カナムグラ-

- 雄株と雌株が存在し異なる形状の花を咲かせる
- 雄株は小さな花をたくさんつけ、そこから花粉が放出される



風邪との見分け方



目のかゆみ



鼻のムズムズ



発熱がない

地球温暖化で雑草が元気に!?



近年の気候変動は周知のとおり。暖かい気候は雑草の生育に好条件で、イネ科の植物やブタクサ、ヨモギといった植物が生命力を強めています。明らかに地球温暖化が秋花粉飛散量の増加につながっているようです。

